

## 「反障害通信」目次一覧

「反障害通信」へのアクセス <http://www.taica.info/kh.html>

(ページ数は縦書き版のページ数です)

<b>127号</b>	2023.1.18	
	終わりの始まりの時に！	3 P
	読書メモ	7 P
	映画鑑賞メモ	24 P
	インターネットへの投稿から	28 P
<b>126号</b>	2022.12.18	
	何故、「廣松ノート」を取ろう、 書こうとしているのか？	3 P
	読書メモ	6 P
<b>125号</b>	2022.11.18	
	そもそも 左翼——保守——右翼——ファシズム とは何だろう？	3 P
	読書メモ	4 P
<b>124号</b>	2022.10.18	
	そもそも 新左翼運動とは何だろう？	3 P
	読書メモ	5 P
	社会変革運動の個的総括（1）	37 P
<b>123号</b>	2022.9.18	
	ファシズム論再論——いくつかの修正と補足——	3 P
	読書メモ	6 P
<b>122号</b>	2022.8.18	
	そもそも 「<反延命>主義」とは何だろう？	3 P
	読書メモ	7 P
<b>121号</b>	2022.7.18	
	そもそも 原発とは何だろう？	3 P
	読書メモ	5 P
	映画鑑賞メモ	15 P
	インターネットへの投稿から	19 P
	情報・コミュニケーション保障法成立 に際して思うこと	20 P
<b>120号</b>	2022.6.18	
	そもそも 民主主義とは何だろう？	3 P

	読書メモ	7 P
	映画鑑賞メモ	30 P
	インターネットへの投稿から	33 P
<b>119号</b>	2022.5.18	
	そもそも 学校（—公教育）とは何だろう？	3 P
	読書メモ	6 P
	映画鑑賞メモ	18 P
	インターネットへの投稿から	20 P
	「会」の当面の研究・執筆課題	21 P
<b>118号</b>	2022.4.18	
	そもそも ファシズムとは何だろう？	3 P
	読書メモ	10 P
<b>117号</b>	2022.3.18	
	そもそも 軍隊・軍事とは何だろう？	
	——ロシアのウクライナ侵攻批判——	3 P
	読書メモ	8 P
<b>116号</b>	2022.2.18	
	そもそも 因果論とは何だろう？—因果論という非論理性—	3 P
	読書メモ	8 P
	インターネットへの投稿から	17 P
<b>115号</b>	2022.1.18	
	そもそも人権とは何だろう？	3 P
	読書メモ	5 P
	映画鑑賞メモ	14 P
	「吃音者」差別をとらえ返す	16 P
<b>114号</b>	2021.12.18	
	現在日本のファシズムの蠢動、始動？	3 P
	読書メモ	5 P
	映画鑑賞メモ	14 P
	インターネットへの投稿から	16 P
	そもそも「社会主義」とは何だろう？	16 P
<b>113号</b>	2021.11.18	
	「君が代」に手話を付ける？	3 P
	読書メモ	9 P
	映像鑑賞メモ	21 P

**112号**          2021.10.18

三つの封印すべき技術——原発、臓器移植、遺伝子操作・	3 P
読書メモ	8 P
映像鑑賞メモ	21 P
インターネットへの投稿から	23 P

**111号**          2021.9.18

オリンピック、廃止か改革か？	3 P
読書メモ	6 P
映像鑑賞メモ	23 P
インターネットへの投稿から	24 P

**110号**          2021.8.18

コロナ感染症対策の論点整理⑨	
コロナワクチン批判のデマ扱い	3 P
読書メモ	7 P
映像鑑賞メモ	23 P
インターネットへの投稿から	24 P

**109号**          2021.7.18

コロナ感染症対策の論点整理⑧	
コロナ感染症対策の非論理性	3 P
読書メモ	7 P
映像鑑賞メモ	15 P
インターネットへの投稿から	16 P

**108号**          2021.6.18

「二〇二〇東京オリンピック」を問う	3 P
読書メモ	5 P
映像鑑賞メモ	11 P
インターネットへの投稿から	12 P
「障害関係論原論」への覚え書き	12 P

**107号**          2021.5.18

「障害者権利条約」は「使える」のか？	3 P
読書メモ	10 P
映像鑑賞メモ	29 P
インターネットへの投稿から	33 P

**106号**          2021.4.18

なぜ、日本はデジタル「後進国」になったのか？	3 P
------------------------	-----

	読書メモ	5 P
	インターネットへの投稿から	54 P
<b>105号</b>	2021.3.18	
	ポピュリズム政治について	3 P
	読書メモ	5 P
<b>104号</b>	2021.2.18	
	歴史忘却主義者・修正主義者の虚言——韓国批判を繰り返し、 「謝罪」とリセットを繰り返し続ける自民党右派——	3 P
	読書メモ	5 P
	インターネットへの投稿から	28 P
<b>103号</b>	2021.1.18	
	コロナ感染症対策とトリアージ	3 P
	読書メモ	5 P
	映像鑑賞メモ	28 P
	インターネットへの投稿から	31 P
<b>102号</b>	2020.12.18	
	新自由主義とファシズムの隆起	3 P
	読書メモ	6 P
	映像鑑賞メモ	21 P
	インターネットへの投稿から	23 P
<b>101号</b>	2020.11.18	
	コロナウイルスの感染症対策の論点整理——その後2 ——感染症対策が、なぜ経済政策を基礎にした医療政策なのか？——	3 P
	読書メモ	6 P
	映像鑑賞メモ	27 P
<b>100号</b>	2020.10.18	
	菅政権のなさんとしていること ——新自由主義と専制的政治——	3 P
	読書メモ	5 P
	インターネットへの投稿から	36 P
<b>99号</b>	2020.9.18	
	政治とは権力の行使」なのでしょうか？ ——全体主義の論理と社会変革の論理の表裏——	3 P
	読書メモ	4 P
	インターネットへの投稿から	37 P

<b>98号</b>	2020.8.18	
		国家主義が世界を跋扈している——コロナウイルス対策のなかで浮かびあがってきた、「自粛」という抑圧とエゴイズム—— . . . . . 3 P
		読書メモ . . . . . 6 P
		インターネットへの投稿から . . . . . 41 P
<b>97号</b>	2020.8.3	
		フェミニズム論争から障害学をとらえ返す . . . . . 3 P
		読書メモ . . . . . 7 P
		映像鑑賞メモ . . . . . 20 P
		インターネットへの投稿から . . . . . 21 P
<b>96号</b>	2020.7.18	
		コロナウイルスの感染症対策の論点整理——その後 . . . . . 3 P
		インターネットへの投稿から . . . . . 6 P
		読書メモ . . . . . 7 P
<b>95号</b>	2020.6.18	
		コロナウイルスの感染症対策の論点整理(4) . . . . . 3 P
		インターネットへの投稿から . . . . . 6 P
		読書メモ . . . . . 7 P
		映像鑑賞メモ . . . . . 27 P
<b>94号</b>	2020.5.18	
		コロナウイルスの感染症対策の論点整理(3) . . . . . 3 P
		インターネットへの投稿から . . . . . 9 P
		読書メモ . . . . . 11 P
<b>93号</b>	2020.4.18	
		コロナウイルスの感染症対策の論点整理(2) . . . . . 3 P
		映像鑑賞メモ . . . . . 6 P
		インターネットへの投稿から . . . . . 9 P
		読書メモ . . . . . 11 P
		6つの安全保障問題 . . . . . 15 P
<b>92号</b>	2020.4.3	
		コロナウイルスの感染症対策の論点整理 . . . . . 3 P
		読書メモ . . . . . 7 P
		インターネットへの投稿から . . . . . 20 P
		社会変革への途(6) . . . . . 20 P
<b>91号</b>	2020.3.18	

	「自己決定」の名のもとでの「死へ誘う医療」批判	3 P
	読書メモ	7 P
	インターネットへの投稿から	31 P
<b>90号</b>	2020. 3. 3	
	反差別—反国家主義—反資本主義の運動を！	3 P
	読書メモ	5 P
	S N Sの投稿から	31 P
<b>89号</b>	2020. 2. 18	
	「謝罪」ということも分からない政治家たち	3 P
	読書メモ	5 P
	S N Sの投稿から	24 P
	社会変革への途(5)	27 P
<b>88号</b>	2020. 1. 18	
	健康は義務なのか？—介護保険制度における義務規定—	3 P
	読書メモ	4 P
	映像鑑賞メモ	30 P
<b>87号</b>	2020. 1. 6	
	バイオテクノロジーは「障害者」にとって何を意味するのか？	3 P
	読書メモ	8 P
	映像鑑賞メモ	25 P
<b>86号</b>	2019.12.18	
	「現実的に」ということ	3 P
	読書メモ	5 P
	S N Sの投稿から	18 P
	社会変革への途(4)	19 P
<b>85号</b>	2019.11.18	
	六つの共同幻想とそこからの自立	3 P
	読書メモ	6 P
	映画鑑賞メモ	21 P
	S N Sの投稿から	23 P
<b>84号</b>	2019.10.18	
	環境破壊と社会変革	
	—資本主義で環境破壊を阻止し得るのか—	3 P
	読書メモ	9 P
	映画鑑賞メモ	19 P

	S N S の投稿から	22 P
	社会変革への途(3)	23 P
<b>83号</b>	2019.9.18	
	ナショナリズム(民族主義、国家主義)に対峙し超えるために	3 P
	読書メモ	6 P
	S N S の投稿から	21 P
	社会変革への途(2)	23 P
<b>82号</b>	2019.8.18	
	フェミニズムと「障害者運動」の「不幸な対立」?	
	——「産む—産まないは女が決める」というスローガンを巡って——	3 P
	読書メモ	6 P
	映画鑑賞メモ	19 P
	S N S の投稿から	20 P
<b>81号</b>	2019.7.18	
	国家主義的扇動批判	
	—欺瞞だらけの「徴用工問題」への「報復処置」—	3 P
	読書メモ	5 P
	映画鑑賞メモ	12 P
	社会変革への途(1)	13 P
<b>80号</b>	2019.6.18	
	臓器移植とバイオテクノロジー	3 P
	読書メモ	5 P
	映画鑑賞メモ	29 P
<b>79号</b>	2019.5.18	
	天皇制と障害-差別問題	
	パターナリズムの象徴としての天皇制	3 P
	読書メモ	5 P
	映画鑑賞メモ	29 P
<b>78号</b>	2019.4.18	
	差別の総体的、根源的とらえ返しを	3 P
	読書メモ	4 P
<b>77号</b>	2019.3.15	
	障害の各モデルとその関係性—エクセル表とその文章化—	3 P
	読書メモ	6 P
	映画鑑賞メモ	31 P

<b>76号</b>	2019.2.12	
		民衆の国境を越えたユニバーサリーゼーションの運動を・ 3 P
		読書メモ . . . . . 5 P
		手話文法試論(3) . . . . . 31 P
<b>75号</b>	2019.1.11	
		ろう運動における「障害の社会モデル」 . . . . . 3 P
		読書メモ . . . . . 9 P
		手話通訳者とプライド . . . . . 34 P
<b>74号</b>	2018.12.28	
		この間のわたしの手話関係の活動の総括 . . . . . 3 P
		読書メモ . . . . . 7 P
<b>73号</b>	2018.11.15	
		「個別的利害の対立？」と
		「個別的利害と普遍的利害の対立？」 . . . . . 3 P
		読書メモ . . . . . 7 P
<b>72号</b>	2018.9.17	
		障害の関係モデルの定立のために
		—障害問題のパラダイム転換をなしきるために— . . . . . 3 P
		読書メモ . . . . . 12 P
		杉田水脈議員の「生産性のないひと」発言の意味すること
		. . . . . 19 P
<b>71号</b>	2018.8.17	
		「自然災害」と政治の責任 . . . . . 3 P
		読書メモ . . . . . 4 P
<b>70号</b>	2018.6.20	
		「障害者運動」が突き出したこと
		—「国際障害者年」のスローガンから . . . . . 3 P
		読書メモ . . . . . 4 P
		「ろう文化宣言」を障害問題からとらえ返す . . . . . 32 P
<b>69号</b>	2018.4.28	
		障害学批判のために . . . . . 3 P
		責任をとらない「最高責任者」 . . . . . 6 P
		読書メモ . . . . . 6 P
		映像鑑賞メモ . . . . . 32 P
<b>68号</b>	2018.2.12	



	民主主義の基底としての情報保障	3 P
	アベのごまかし政治	6 P
	読書メモ	6 P
	民主主義の二つの意味	35 P
<b>67号</b>	2017.12.12	
	墓穴を掘るアベ首相を墓穴に落とそう	3 P
	永田町に出没する狸の話 (1)	4 P
	読書メモ	5 P
<b>66号</b>	2017.10.9	
	なぜ、こんな政治がまかり通るのか—歴史は繰り返される、 最初は悲劇として二度目は悲喜劇として—	3 P
	読書メモ	4 P
	映画鑑賞メモ	16 P
<b>65号</b>	2017.8.29	
	なぜ、差別を問題にするのか?	3 P
	読書メモ	4 P
	反暴力主義 非暴力 実力闘争—反差別主義宣言—	21 P
<b>64号</b>	2017.7.12	
	共謀罪法 (「テロ等準備罪」) とは何か —反差別という立場からのとらえ返し—	3 P
	「豊田真由子様」	7 P
	読書メモ	7 P
	映画鑑賞メモ	24 P
<b>63号</b>	2017.4.3	
	森友学園問題	3 P
	「まずいでしょう」	6 P
	印籠—村度政治	7 P
	読書メモ	7 P
	映画鑑賞メモ	16 P
	手話通訳と差別語問題	17 P
<b>62号</b>	2017.2.4	
	「共に行動する情報・コミュニケーション・ アクセス保障を考える会」(仮称) 発足のために	3 P
	時局へのコメント③ 「でんでん」首相	5 P
	読書メモ	6 P

	映画鑑賞メモ	29 P
<b>61号</b>	2016.11.18	
	今、何が必要なのか？	3 P
	読書メモ	5 P
	映画鑑賞メモ	19 P
	<b>追悼</b> あるろう者の死	23 P
	<障害>の手話による障害の医学モデルと「社会モデル」、 関係モデルの論考	24 P
<b>60号</b>	2016.9.20	
	障害の医学モデルと「社会モデル」の統合という錯誤	3 P
	読書メモ	16 P
	アベマリオ	23 P
<b>59号</b>	2016.8.11	
	相模原事件について	3 P
	読書メモ	6 P
	映像鑑賞メモ	9 P
	「吃音＝発達障害」規定をとらえ返す	10 P
<b>58号</b>	2016.6.10	
	何のための、誰のための政治か？	3 P
	読書メモ	5 P
	映像鑑賞メモ	16 P
<b>57号</b>	2016.4.20	
	「障害者」が政治行動の先頭に	3 P
	読書メモ	4 P
	映像鑑賞メモ	14 P
	山河破れて「国」なし	14 P
<b>56号</b>	2016.2.25	
	戦争・ファシズム・差別・環境破壊を許さない！	3 P
	わたしの反核（反原発）宣言	5 P
	読書メモ	7 P
	映像鑑賞メモ	14 P
<b>55号</b>	2015.12.15	
	運動の原則を押さえ直すために	3 P
	読書メモ	6 P
	映像鑑賞メモ	21 P

<b>54号</b>	2015.10.21	
	アベノミクスの第二弾とは何か？	3 P
	アベ談話批判	5 P
	読書メモ	12 P
	とんでもないこと	31 P
	映像鑑賞メモ	32 P
	国会議事堂前で一ファシズムの波を押し返すために一	37 P
<b>53号</b>	2015.8.11	
	アベノ政治のダブルスタンダード	3 P
	読書メモ	5 P
	映像鑑賞メモ	13 P
	モリスの「『障害の社会モデル』批判」がもつ意味	18 P
<b>52号</b>	2015.8.11	
	ストップ アベノ政治	3 P
	時局川柳	8 P
	読書メモ	8 P
<b>51号</b>	2015.3.30	
	曾野綾子「アパルトヘイト的発言」一差別主義批判	3 P
	読書メモ	4 P
	続・なぜ、わたしは文を書くのか	5 P
<b>50号</b>	2015.1.28	
	反障害一反差別研究会のこれからの課題	3 P
	情況への提言詞(4) 反面教師	5 P
	読書メモ	5 P
<b>49号</b>	2014.11.28	
	ストップ ザ・アベノムチャクチャ政治	3 P
	情況への提言詞(2) 原発の責任を問う	11 P
	情況への提言詞(3) わけのわからぬ許し難いこと	12 P
	読書メモ	12 P
<b>48号</b>	2014.11.6	
	十分な避難計画などありえるのか	
	—(川内)原発再稼働は許されない—	3 P
	情況への提言詞(1) アベ政治	6 P
	読書メモ	7 P
<b>47号</b>	2014.10.15	
	「従軍慰安婦」に関する覚書	3 P

	読書メモ	8 P
	フクシマを心に刻み、継続した取り組みのために	28 P
<b>46号</b>	2014.7.30	
	うそつき、ごまかし、無責任のアベ政治が	
	なぜまかり通るのか？	3 P
	読書メモ	9 P
	介助日記007	18 P
	なぜ、わたしは文を書くのか	21 P
<b>45号</b>	2014.5.25	
	反原発・脱原発の意志表示をしよう	
	・「障害者」の仲間たち	3 P
	「美味しんぼ」と「風評被害」問題	7 P
	日本の議会制民主主義の幻想は崩壊した	11 P
	読書メモ	13 P
	介助日記006	24 P
	時局川柳 (11)	24 P
<b>44号</b>	2014.3.23	
	唯生きることを基礎にし、大切にしている関係の構築を	3 P
	読書メモ	4 P
	介助日記005	15 P
	時局川柳 (10)	18 P
<b>43号</b>	2013.10.21	
	今年のウソつき大賞	
	—「裸の王様」的アベ首相の言動—	3 P
	読書メモ	4 P
	介助日記004	6 P
	時局川柳 (9)	8 P
	なぜ哲学的なことが必要になるのか？	8 P
<b>42号</b>	2013.5.3	
	「吃音者の社会運動」	
	一言友会（「吃音者」団体）の四輪駆動的展開？	3 P
	読書メモ	6 P
	時局川柳 (8)	14 P
	介助日記003	15 P
<b>41号</b>	2013.2.22	
	橋下大阪市長と体罰問題	3 P

読書メモ	4 P
介助日記002	11 P
時局川柳 (7)	11 P
反差別、反資本主義、反「環境—生命破壊」の トライユニティ (「三位一体」) の運動を!	12 P

**40号**            2013.1.26

原発の「三安神話」の崩壊	3 P
時局川柳 (6)	4 P
読書メモ	4 P
「親=敵」論とは何だったのか?	9 P
介助労苦論批判のために	10 P

**39号**            2012.10.21

法制度の少しずつの前進ということは可能なのか —パラダイム転換が必要ということの関係で—	3 P
読書メモ	5 P
時局川柳 (5)	13 P
フェミニズムの議論の蓄積をとらえかえした、フェミニズム 障害学の創出を—モリスらのフェミニズム障害学の フェミニズム僭称批判—	14 P

**38号**            2012.9.22

何のために研究し、何のために議論し、 何のために論攷するのか?	3 P
読書メモ	4 P
時局川柳 (4)	6 P
マルクスの思想は破綻したのか —反差別論で使えないのか—	6 P

**37号**            2012.8.4

障害 (差別) はどのようなこととしてあるのか —「障害の否定性」をめぐる論考について—	3 P
読書メモ	9 P
時局川柳 (3)	12 P
差別に関する予断とステレオタイプ批判	13 P

**36号**            2012.6.22

西洋は日本の「障害者」にとって モデルたりえるのか?	3 P
時局川柳 (2)	5 P

	読書メモ	6 P
<b>35号</b>	2012.5.5	
	時局川柳 (1)	3 P
	読書メモ	4 P
	家事や「ケア」は労働なのか?	15 P
<b>34号</b>	2012.4.6	
	原発はなぜ存在してきたのか?	
	—原発の再稼働を阻止するために—	3 P
	読書メモ	7 P
<b>33号</b>	2012.4.6	
	裁こうとする者は裁かれる者	
	—刑事事件と差別の関係から裁判員裁判をとらえ返す—	3 P
	読書メモ	6 P
<b>32号</b>	2012.4.6	
	反差別を全ての運動の基底に据えるために	3 P
	読書メモ	8 P
<b>31号</b>	2011.12.27	
	「現実的な」—「現実的に」ということ	3 P
	読書メモ	5 P
	「原発事故による遺伝子変異」を巡る言説の危うさ	22 P
<b>30号</b>	2011.10.26	
	「障害の社会モデル」をとらえ返す中から新しい出発を	3 P
	読書メモ	7 P
	「ディスアビリティ・トラブル」	13 P
<b>29号</b>	2011.9.15	
	民主主義と反差別	3 P
	読書メモ	5 P
	時代制約性について	27 P
<b>28号</b>	2011.7.15	
	原発震災から4ヶ月	3 P
	読書メモ	6 P
	反差別コミュニズム論序説の序	17 P
<b>27号</b>	2011.5.8	
	天災と人災	3 P
	読書メモ	9 P
	石原慎太郎東京都知事の暴言の構造	25 P

<b>26号</b>	2011.3.12	
	どこに活動の基準をおくのか	3 P
	読書メモ	4 P
	脱構築と物象化批判の関係	22 P
<b>25号</b>	2010.12.18	
	自分で感じて、調べて、考える	3 P
	読書メモ	5 P
	間主観性と共同主観性の関係から 障害関係論を深化する	18 P
<b>24号</b>	2010.12.18	
	基本所得保障（ベーシックインカム）から生活保障に	3 P
	読書メモ	6 P
	反差別論序説草稿への改訂的断章	17 P
	「障害の社会モデル」から関係モデルへの転換のために	18 P
<b>23号</b>	2010.8.27	
	障害の表示問題について一推進会議での議論へのコメントから 障害関係論の確立のために一	3 P
	読書メモ	6 P
	対話の中から	13 P
	雑感 「運動と自己表現活動」	15 P
<b>22号</b>	2010.7.23	
	草の根の運動とそのネットワーク作りから 大きなうねりを作り出すために	3 P
	読書メモ	4 P
	『反障害原論』への補説的断章（2）*	24 P
	*なぜ、今マルクスなのかー『反障害原論』の隠されたサブタイトルー	
<b>21号</b>	2010.3.15	
	「障がい者制度改革推進会議」のこと	3 P
	対話の中から	5 P
	読書メモ	9 P
	『反障害原論』への補説的断章（1）*	20 P
	*『反障害原論』第一刷筆者校正1	
<b>20号</b>	2010.2.7	
	とうとう政府文書に‘障がい’表記が……	3 P
	読書メモ 木村敏著作	5 P
	雑感 老いと障害問題	7 P

<b>19号</b>	2009.2.11	
	新しい「障害者運動」—反障害運動を起こすために	
	—「反障害通信」再刊にあたって—	3 P
	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">追悼</span>	6 P
	出版案内	7 P
	書評 『障害学研究4 特集：経済学と障害学の対話』	8 P
<b>18号</b>	2007.12.1	
	「障害者権利条約」や「障害者差別禁止法」は	
	反障害=反差別の道具=手段になりえるのか?	3 P
	たわしの読書メモ (15)	5 P
	反障害原論(16)	11 P
<b>17号</b>	2007.9.30	
	特別なニーズ	3 P
	たわしの読書メモ (14)	5 P
	反障害原論(15)	7 P
<b>16号</b>	2007.7.27	
	“合理的配慮”という誤訳?	3 P
	たわしの読書メモ (13)	5 P
	書評 吉田おさみ『“狂気”からの反撃』	12 P
	反障害原論(14)	14 P
<b>15号</b>	2007.5.22	
	「障害の社会モデル」と障害関係論	3 P
	たわしの読書メモ (12)	4 P
	書評 横田弘『障害者殺しの思想』	11 P
	反障害原論(13)	13 P
<b>14号</b>	2007.4.20	
	基本所得保障	3 P
	たわしの読書メモ (11)	5 P
	反障害原論(12)	10 P
<b>13号</b>	2007.2.12	
	グローバルイゼーションに対抗する	
	ユニバーサリイゼーション	3 P
	たわしの読書メモ (10)	4 P
	書評 横塚晃一『母よ！殺すな』	9 P
	反障害原論(11)	11 P



<b>12号</b>	2007.1.7	
	「はやく、ゆっくり」	3 P
	手話サークル・手話通訳のジレンマ	4 P
	たわしの読書メモ (9)	6 P
	反障害原論(10)	7 P
<b>11号</b>	2006.11.26	
	どうでもいいじゃん!	3 P
	手話は単語が少ない???	5 P
	たわしの読書メモ (8)	7 P
	反障害原論(9)	10 P
<b>10号</b>	2006.10.20	
	ブーメラン	3 P
	たわしの読書メモ (7)	6 P
	誰のための手話通訳?	7 P
	「心はどこにあるの?」をめぐる応答	10 P
	反障害原論(8)	12 P
<b>9号</b>	2006.9.17	
	障害に関する理論的深化と展開の協働作業のために	3 P
	たわしの読書メモ (6)	5 P
	手話と差別語	6 P
	ユニバーサル・デザインの利害の衝突	8 P
	反障害原論(7)	9 P
<b>8号</b>	2006.8.9	
	自己責任と社会の責任・社会的責任	3 P
	たわしの読書メモ (5)	5 P
	「障害者自立支援法」成立下の手話通訳有料化の動きの中で	6 P
	被障害者の労働崇拜	8 P
	反障害原論(6)	10 P
<b>7号</b>	2006.7.5	
	「障害者福祉事業」はサービスなのか	3 P
	たわしの読書メモ (4)	5 P
	「障害者自立支援法」と手話通訳の有料化—その2	6 P
	反障害原論(5)	9 P
<b>6号</b>	2006.5.30	
	小泉構造改革の中身—参議院予算委員会審議の中から	3 P
	「障害者自立支援法」と手話通訳の有料化	6 P

	反障害運動—反差別運動の運動スタイル	7 P
	たわしの読書メモ (3)	9 P
	反障害原論(4)	10 P
<b>5号</b>	2006.4.5	
	「差別者の言葉で反差別—反障害運動は進められない	2 P
	新しい手話づくりについて	4 P
	反障害原論(3)	6 P
<b>4号</b>	2006.2.10	
	「障害者自立支援法」の成立は何を意味するのか?	2 P
	書評 杉野昭博 「障害」概念の脱構築	
	—「障害」学会への期待」との対話	5 P
	“障害”という手話をめぐるパラダイム転換	8 P
	反障害原論(2)	9 P
<b>3号</b>	2005.12.5	
	在日外国人無年金問題はなぜ解決を阻まれるのか	3 P
	「ろう文化宣言以後」の以後	7 P
	書評 中西正司・上野千鶴子『当事者主権』	12 P
<b>2号</b>	2005.11.1	
	「福祉切捨ての論理」批判と「福祉の未来」	
	反障害原論(1)	
<b>創刊号</b>	2005.9.1	
	「反障害研究会」結成への呼びかけ	